

【施設状況】

グループ名称	障害者支援施設（ひかり学園）								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				法人番号	5100005001689			
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1413	障害者支援施設（ひかり学園）							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	居室 45室（2人部屋 25室、1人部屋 20室）、短期入所専用室 8室、食堂 1室、厨房 1室、浴室 2室、作業室 6室、通所利用者控室 1室 スヌーズレン室 1室 事務室 2室（職員室 1室、事務室 1室）、会議室 1室、医務室 1室、体育室 1室（ステージ付）								
施設設置目的	障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設（生活介護・自立訓練・施設入所支援）として、利用者の能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう生活の場を提供し適切なサービスを提供する。 短期入所事業においては、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者に対し、適切な短期入所サービスを提供する。								
基本方針等	利用者が安全・安心・快適に過ごせる生活環境の確保を基本に、やりがい、楽しみ感じられる生活が送れるよう個別支援計画を作成し適切な支援を行います。また、サービス機能の充実を図り、利用者の利便性を高めるとともに事業の効率化を図ります。 短期入所事業においては、利用者や家族の気持ちを大切に、緊急時の入所機能の充実に向けたサービスの提供に努めます。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護 施設入所支援 短期入所 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会		指定回数	3 回		
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	生活介護	人/日	69	63	66	65	98%	
	自立訓練（生活訓練）	人/日	0	0	0	0	#DIV/0!	
	施設入所支援	人/日	63	66	63	62	98%	
	短期入所	人/日	5	4	5	5	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) ・H29年度で、自立訓練廃止 ・旧法施設（知的障害者入所更正施設） 短期入所H30年度より定員8人 ・施設入所支援では、2人部屋を1人で使用している状況（使用できる1人部屋がないため）								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・生活介護 定員 74人 ・施設入所支援 定員 70人(H30年度から定員78→70に減) ・短期入所 定員 8人(H30年度から定員6→8に増) ・施設及び設備の維持管理						
	自主事業	・在宅障害者タイムケア事業 ・障害児自立サポート事業						
サービス維持・向上の取組み（広報等）	・ホームページや施設パンフレット等でPRしている。 ・毎月、機関紙「ひかりだより」を発行し、保護者家族に情報提供を行っている。 ・行事報告会や家族との懇談会、交流行事を開催し、家族とのつながりを深めている。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	担当職員より利用者の希望要望や現在の状況を聞き取りを行っている。 施設の行事である、旅行の行先の希望調査や、個別外出の希望、誕生日の希望メニューなど利用者に聞き取りを行っている。 年3回の家族会（8月に家族会の連絡会開催）で要望・苦情の集約を対応している。苦情受付担当者を置き、直接の提案を受け付けている。また、利用者の栄養スクリーニングに活用するため食事の嗜好調査を行っている。		
	(3) 調査、会議等の結果	・可能な限り、個別支援計画に反映できるようにしており、月2回の支援会議において、全利用者の状況の把握に努めている。 また、利用者1人1人の個別支援計画のもと、利用者支援を実施している。 ・利用者の希望に基づき旅行、個別外出等の行事を実施している。		
	(1) 良好とする評価	・誕生日には、誕生日メニューとして何でも好きなメニューをリクエストに応じて提供しプレゼントを贈るなど、施設利用者に喜ばれる取り組みを実施している。 ・個別外出のイベントを計画している。 (短期入所) 利用希望者には可能な限り要望に応えている。		
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	・ひかり棟の空調の老朽化に伴い、冷暖房を使えない日があり利用者や家族から苦情が出ている。修理に何日もかかり、施設として対応ができていない。 ・施設内に放尿している利用者があり、施設内で尿臭がしている時が多く苦情が出ている。放尿のせいでつくし棟の男子トイレ周辺の床を何度も修繕している。また、トイレも腐食箇所等あり改修が必要な状況になってきている。 (短期入所) ・マンツーマンで対応しなければならない利用者の希望が増え、利用をお断りする時が出ている。		
	《対応措置》	・空調設備について、ひかり棟居室については今年度改修する予定である。日中活動を行う部屋の改修は今後の課題である。		

3

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	41,588,000	利用料金	39,076,502	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料		指定管理料			雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料			行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入	1,124,000	その他収入	1,210,153		その他		その他	
	自立支援給付	295,312,000	自立支援給付	283,783,280		国県支出金	174,637,216	国県支出金	172,903,498
計	338,024,000	計	324,069,935	計	174,637,216	計	172,903,498		
支出	人件費	215,543,000	人件費	207,202,098	歳出	指定管理料		指定管理料	
	設備管理費	23,041,000	設備管理費	22,656,233		委託料		委託料	
	備品購入費	3,551,000	備品購入費	3,042,650		需用費		需用費	
	修繕費	5,841,000	修繕費	5,513,755		役務費		役務費	
	光熱水費	24,691,000	光熱水費	23,915,219		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	37,073,000	事業費	35,004,352		修繕費		修繕費	
	事務経費	9,687,000	事務経費	8,497,404		工事請負費	1,962,360	工事請負費	717,120
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	1,274,400
	その他		その他			その他		その他	
						扶助費	232,849,621	扶助費	230,537,997
計	319,427,000	計	305,831,711	計	234,811,981	計	232,529,517		
自主事業	収入	1,733,000	収入	2,130,063					
	支出		支出						
自主事業損益	1,733,000	自主事業損益	2,130,063						
損益	20,330,000		20,368,287	差引	-60,174,765		-59,626,019		
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								67.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 36人(34人)*常勤職員	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	協定内容・指定管理者提案 体育館の無料開放を行っているほか、毎年、防災訓練のうち1回を地域とともに夜間総合訓練として実施するなど地域との協働関係を築いている。 また、地域の行事等には、積極的に参加している。	追加された内容、未実施の内容及びその理由 地域のボランティアサークルと協働しながら入所者支援を行っている（毎月1回 若種ボランティアに約20名参加 掃除・除草等） 今後の作業について、どんなことを行うかが課題となる。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	4	8	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			64

評価理由

施設の設置目的を理解し、利用者が安心して利用している。家族会（保護者会）等との連携を図りながら事業が実施された。管理経費についても経費の節減に努め、指定管理者として適切に事業運営にあたった面は評価できる。地域連携については、地元ボランティアサークルと協働して入居者支援を行っていることから評価を4とした。事業収支については、損益額から健全な経営がなされているものと考えられるため、評価を4とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
車椅子、歩行器、杖等の利用者増に伴い、施設管理や利用者支援を適切に実施する。	短期利用者のためのトイレ整備を行った。	行動障害の方の利用にも対応できる居室等の研究が必要である。

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

施設利用者の高齢化が著しく、車椅子、歩行器、杖等の利用者が増加することに伴い、施設内のより一層のバリアフリー化を図ること、また、施設設備の老朽化に備え、年次計画により設備の更新を進め、住環境の充実と利用者支援を適切に実施する。
 なお、施設では、H30年度から、有事の際の地域ネットワークを構築するため、地域との協議をおこなってきたので、今後も継続していきたい。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・理学療法士によるリハビリと音楽療法士による心身の緊張をの軽減と機能維持のための訓練を楽しみながら行った。
- ・利用者個々の介護度の高まりに合わせ、嚥下等の専門的研修を実施し職員の介護技術を高めた。また、歯科衛生士に来てもらい、口腔ケアの充実に努めた。
- ・短期入所においては、主となる介護者の入院時に緊急的に利用者を受け入れた他、養護学校、他事業所と連携して利用者を受け入れた。また、自立サポートやタイムケアの事業を実施した。
- ・利用者が安心してサービスを利用できるよう職員のスキルアップ、意識改革を行う施設内研修を実施した。（介護研修、リスクマネジメント研修、精神障害、外部講師を招いての事例研究等の研修）

② 業務の効率化に対する取組み

- ・法人全体で個別支援計画から日々の記録までを一括で管理するパソコンの支援ソフトを導入し、効率的且つ正確な情報の管理と共有化が出来た。
- ・法人では事業部制を導入しているが、当施設の属している事業部では障害者支援に必要な人材育成（研修プラン）の実施、事業部に共通した課題への取り組みを行った。
- ・つくし女子棟1階のトイレを車いすの方も利用できるよう改修した。

③ その他

- ・施設内研修の他に虐待防止法の研修他行政機関や関係機関の実施する各種の研修に積極的に参加した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・支援職員の不足。ハローワーク等求人を出しているが、採用希望者がおらず欠員が生じている。募集については、法人と協力し進めているが、人手不足の解消に繋がっていない。
- ・短期入所において、利用希望者が多く、特に児童やマンツーマン対応を必要とする利用者が増えているので、受入れは職員の人員を厚くしないと出来ない現状であり、肢体不自由の方と行動障害の方が一緒にならないように配慮して予約を受けなければならない。また、入所利用者と短期入所利用者の相互の精神的な安定を図る為には動線を分ける必要があり、平成30年度短期入所定員を8名とし、短期入所者専用の棟に向けた整備を、ハード面（女子トイレ改修）を実施した。
- ・空調機器等補給部品の生産が終了するため、2019(平成31)年中を目途に空調機器の入替の検討をするよう設置業者よりお願いをされた。機器等の計画的な入れ替えが必要となっており、今年度、ひかり棟居室の改修工事を行う予定。ひかり棟管理部分も故障が多く、利用者の日中活動に支障をきたすので、改修について長野市と相談したい。
- ・ひかり棟の屋根が冬場になると凍ってしまい、溜まった水が室内に流れ込んでしまうことがたびたびあり対応に苦慮しているため、長野市に修繕の依頼をしている。
- ・つくし棟の屋根も早めに塗り替えをするよう指摘を受けている。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

施設の設置目的を理解し、利用者が安心して利用している。
 施設の老朽化等、傷んでいる部分については可能な限り修繕を行ってきた。
 経費節減にも努めてきた。

② 次年度以降の取組み

- ・支援職員の補充。
- ・短期入所棟のハード面の整備、それに伴う職員体制の確保。
- ・施設内研修の充実と専門的研修に参加し職員のスキルアップを図る。
- ・利用者の選択活動の幅を広げられるよう社会参加の促進を図る。